

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
与板地区

平成25年6月

新潟県長岡市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
指標1	まちなか通行者数	人/12h	1,163	1,350	1,606	確定			あり	1,361	H24年10月		評価値の計測の際は、自転車歩行者優先道路での幼稚園児の散歩利用などが多くみられた。	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	確定値が目標値に達していることから、自転車歩行者優先道路の全区間整備完了にともなうまちなかネットワークの向上などにより、まちなかの回遊性が高まったといえる。
指標2	防災訓練参加者数	人/年	200	400	518	確定			あり						各種防災施設の整備による防災まちづくりの強化が図れたとともに、継続的な防災訓練の実施により、市民の防災意識を持続させることで、ハード面・ソフト面において災害に強いまちづくりが進められているといえる。
指標3	中心商店街営業店舗数	件	78	78	74	確定			あり	75	H24年5月			改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	道路整備や観光拠点整備により、まちなかの回遊性を創出したことで、商店街の活性化にも一定の効果がみられた。
指標4	主要施設の来訪者数	人/年	7,620	9,900	13,140	確定			あり	9,436	H25年4月		H23年度は、夏休み時期に兼続お船ミュージアムを無料開放したため来訪者数が増加したが、H24年度は通常営業のためH23年度ほど来訪者数が伸びなかった。	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	H24年度の来訪者数は目標未達成となったが、目標値に近似しており、従前値より増加の傾向を維持していることから、一定の効果がみられた。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4 - その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
その他の数値指標1	自主防災会団体数	件	0	/	36	確定								本事業の実施に伴い、それまで組織されていなかった自主防災会が、36団体まで増加した。また、各自主防災会が、本事業で整備した防災施設を活用した訓練を定期的に行っていることから、事業の効果がみられた。	
その他の数値指標2	年末年始セール1店舗当り売上の前年度比	%	-3.0	/	+0.9	確定				+14.0	H25年3月		評価値は、見込みの推計値であったため、実績値が推計値より大幅に少なくなり、フォローアップ時の確定値が大幅に増加した。	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	商店街の加盟店舗数が増え、商店街全体の年末年始セールにおける売上が増加していることから、道路整備や観光拠点整備により、まちなかの回遊性を創出したことで、商店街の活性化にも一定の効果がみられた。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	・更なる自転車歩行者(優先)道路などの利活用の推進	自転車歩行者(優先)道路を活用した下記イベントを実施している。 ・まちの駅よいたのオープニングイベントの実施(3月) ・ウォークラリーの実施(4月) ・自転車歩行者(優先)道路での天地人行列の実施(10月) ・お船の里まち歩きの実施(10月)	自転車歩行者(優先)道路を核としたまちなかのイベントを多数実施したことにより、参加者が増加した。	今後も、ウォークラリーなど自転車歩行者(優先)道路を活用したイベントを定期的に実施していく。
	・防災施設を活かした防災訓練の継続	防災訓練を継続して実施している。	防災施設を活かした定期的な防災訓練の実施により、地区住民の防災意識が持続している。	防災施設を活かした防災訓練を継続的に実施していくための働きかけを進めていく。
	・来訪者をもてなす住民との協働による管理の継続	地区住民による自転車歩行者(優先)道路の管理を継続して実施している。	地域全体で来訪者をもてなすまちづくりが進められている。	地区住民との協働による管理を継続的に進められるよう、地区住民との密な連絡・協議を進めていく。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	<地域資源などと商店街の連携強化> ・イベントなどにおける商店街通りの活用 ・商店街への誘客を図る周知・PR	天地人行列のルートとして商店街通りを通過することで、商店街への誘客を図った。 また、平成24年2月に、商店街を含めたまちなかの散策マップを作成し、市内主要施設に設置した。	商店街を活用したイベントの実施や、まちなかの情報を記載したマップの設置により、更なるまちなかへの誘客が図られた。	商店街通りを活用した更なるイベントの企画実施が求められる。まちなか散策マップをより活用したイベントが求められている。
	<より広域的なサインの整備> ・与板地区外におけるサイン整備	長岡市の中之島地区および三島地区に設置されている観光誘導サインに「梁山苑」の表示を追加した。 また、与板地区内においても、新規の観光誘導サインを5基設置する予定である。	与板地区外でのサイン整備が進んだことで、与板地区の主要施設へのアクセス性が向上した。	効率的なサイン配置計画による与板地区内の観光地へのアクセス性の更なる向上を図る。

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
特になし			

都市再生整備計画(清算報告)
与板地区

新潟県 長岡市

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	新潟県	市町村名	長岡市	地区名	与板地区	面積	740 ha				
計画期間	平成	19 年度	～	平成	23 年度	交付期間	平成	19 年度	～	平成	23 年度

目標 まちなか資源活用による地域住民が楽しく安心して暮らすことができる中心市街地の再生 鉄道廃線敷を活かして地域住民等の健康増進を目指したまちなか散策ネットワークづくり 地域防災に役立つ基盤整備による災害に強いまちづくり 地域資源などの活用による魅力と賑わいのある商店街としての活性化 NHK大河ドラマ「直江兼続」ゆかりの歴史資源や地域住民の地域力を活かした来訪者へのもてなし
--

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 当該地区は、平成18年1月1日に旧与板町、旧和島村、旧寺泊町、旧栃尾市、旧長岡市との合併によって誕生した 新長岡市の北部、旧与板町の中心市街地 に位置している。国道403号に沿って 带状に長く商店街が形成 され、古くから 旧三島郡の中心地、伝統工芸品「越後与板打刃物」の産地 として栄えてきた地区であり、地区内及びその周辺には城跡をはじめ、240年余りの歴史を誇る「登り屋台」など 歴史的な資源が多数残されている とともに、市街地周辺部には「うまみち森林公園」「与板河川緑地」など、 身近な自然と親しむことのできる場所が整備 されている。 市街地内を南北に走る越後交通寺泊線 は大正4年10月に開業後、昭和35年10月に栃尾電鉄と合併し越後交通となり運営されていたが、モータリゼーションの進展等により、 昭和50年4月に運転を停止 している。その後、20年もの長期にわたり各所にレールを残したまま将来の復帰に備えていたが、再開の目的がたらず、 平成7年3月に正式廃止 に至っている。現在、中心市街地を通過する廃線敷は部分的に契約駐車場として利用されている場所もあるが、大半が手つかずのままであり、 市街地振興における貴重な種地 としての位置づけはあるものの、具体的な活用・整備計画に至らない状況にあった。 しかしながら、平成16年度より、市町村合併を見据えた廃線敷有効活用の気運が盛り上がり、3回のワークショップ開催など 住民参加型のまちづくり を進めていく中で、跡地利用の方向性を見出している。市街地内には幅員が狭隘な道路に面する 密集住宅地が存在し、防災や救急活動に支障 をきたしているほか、子どもや老人が憩える 身近な公園や広場が少なく、周辺部の比較的規模の大きな公園緑地などとの連携が不十分 な状況にある。 また、国道403号沿いに形成されている中心商店街は、近年 空き店舗が目立って きており、店舗の老朽化、担い手の不足と相俟って、 賑わいと魅力が低下 している。 平成21年放送予定のNHK大河ドラマが、与板城主の戦国武将「直江兼続」を主人公にして放送されることが決定した ため、これを契機に、ゆかりの歴史資源や観光案内、地域住民によるもてなしを充実することにより、まちづくりの目標を達成する起爆剤となることが期待される。
--

課題 越後交通廃線敷の有効利用 住民意向調査において、廃線敷の有効活用を望む声 ⁸ が割強を占めており、また、市街地内には、身近な公園や広場が少なく、子どもや高齢者の憩いの場が不足していることから、越後交通廃線敷を有効利用して、憩いの場やレクリエーションの場など地域住民が利用できる空間整備が必要である。また、回遊性を高めるために、商店街や河川緑地公園からのネットワークづくりが必要である。 災害に強いまちなかの 基盤整備 当該区域内には、住宅が密集し、なおかつ狭隘な道路が多いため、火災、震災、水害などに対する防災性の向上が必要である。また、寺社仏閣などの史跡が点在しているが、個々の史跡の魅力を向上させるとともに、これらを活かした回遊ルート整備などが必要である。 商店街の活性化 国道403号沿いの商店街には、空き店舗が多く、老朽化も進んでいるため、賑わいと魅力が低下しており、人の集まる場所の整備や観光資源の案内、ソフト施策の充実など、創意・工夫による賑わい創出が必要である。 地域力で来訪者へのもてなし NHK大河ドラマが、与板城主の戦国武将「直江兼続」を主人公にして放送されることが決定したため、これを契機に全国から観光や視察のために来られる来訪者の期待にそうよう、ゆかりの歴史資源や観光案内、地域住民の心づかいを充実することにより、地域上げてのもてなしが必要である。これにより地域住民が元気になり、地域もいきいきする地域力の高まりが必要である。

将来ビジョン(中長期) 【長岡地域新市将来構想】 本構想では、与板地域の整備方針として、“特有の地域資源を活用した独創と起業を進める地域の形成”“地域づくりのよりどころとなる「歴史と田園が織りなすふるさと」の形成”“積極的な交流で、常に育ちつづける地域と人づくり”“豊富な歴史文化や人柄が創る、まごころのもてなし発信地域”が掲げられている。 【長岡地域新市建設計画】 本計画では、与板地域に関するリーディングプロジェクトの中で、景観街並み形成保全促進事業として“歴史・文化の街歩きルートの形成と、地域による演出・手入れ・もてなしの仕組みをつくる(与板地域で先行的に取り組む)”と掲げられている。 【旧与板町総合計画・後期基本計画】 本計画では、道路網の整備の中で、“越後交通鉄道廃線敷を活用した広域自転車道の整備を促進する”と掲げられている。 【旧与板町都市計画マスタープラン】 本計画では、補助幹線道路整備方針の中で、自転車道の整備として、“安全性、快適性に配慮して、舗装や照明灯などを整備する”“観光客に対応するため、町並みや自然を紹介する案内板等を充実させ、また、かつての駅跡を利用して休息の場を整備する”と掲げられている。
--

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
				基準年度	目標年度	目標年度	目標年度
まちなか通行者数	人/12h	中心商店街を通行する平日12時間の歩行者及び自転車数	まちなか散策ネットワークづくりによって、歩行者及び自転車によるまちなか回遊機会を増大させる。	1,163	1,350	H18	H23
防災訓練参加者数	人/年	与板地域における防災訓練の年間参加者数	災害に強いまちづくり基盤整備と住民意識向上活動により、地域防災訓練への参加者数を増加させる。	200	400	H18	H23
中心商店街営業店舗数	件	中心商店街(国道403号沿いのアーケード区間)における営業店舗数	まちなかの商店街を活性化し、営業店舗数の減少をいとめる。	78	78	H18	H23
主要施設の来訪者数	人/年	楽山苑と歴史民俗資料館の利用者及び入場者数	NHK大河ドラマ「直江兼続」ゆかりの歴史資源を活用し地域住民でもてなす心づかいで来訪者を増加させる。	7,620	9,900	H18	H23

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 健康増進などにつながる遊歩道等の整備 ～ 廃線敷の活用～ 地域住民等の健康増進を図るために、鉄道廃線敷を有効活用して地域特性を活かした自転車歩行者(優先)道路を整備する。</p> <p>自転車歩行者道路利用者の休息スペースや地域住民の憩いの空間の形成を図るために、鉄道駅跡地を有効活用した緑地広場(コミュニティガーデン)を整備する。</p> <p>鉄道廃線敷を活用した自転車歩行者(優先)道路と中心商店街、与板河川緑地との回遊性を高める散策路の道路改良を行う。</p>	<p>自転車歩行者(優先)道路整備(基幹事業:道路) デザイン照明施設等整備(基幹事業:高質空間形成施設) まちづくり協議会運営事業(提案事業:事業活用調査) まちづくり交付金事業の実施に関する成果検証及びまちづくり方策検討事業(提案事業:事業活用調査) 緑地広場整備(基幹事業:地域生活基盤施設)</p> <p>まちなか散策路整備(基幹事業:道路)</p>
<p>整備方針2 災害に強い道路空間の形成と地域防災に寄与する基盤の整備 災害時における円滑な防火活動が行えるように、耐震性貯水槽や防火水槽を整備する。</p> <p>災害時における円滑な避難や救助活動が行えるように、緊急車両の通行も可能な廃線敷道路を整備する。</p> <p>地域住民の防災に対する意識向上に向けて防災マップを作成し、配布する。</p>	<p>耐震性貯水槽整備(基幹事業:地域生活基盤施設)</p> <p>防火水槽整備(基幹事業:地域生活基盤施設) 自転車歩行者(優先)道路整備(基幹事業:道路)</p> <p>洪水・土砂災害ハザードマップ作成(関連事業)</p>
<p>整備方針3 地域資源を活用した中心市街地の活性化 与板地域を訪れる観光客や商店街等を利用する地域住民が、ゆっくりと散策や買物を楽しめるように、駐車場を整備する。</p> <p>中心商店街の賑わいを再生するために、既存建造物(空き店舗)を活用して魅力のあるまちづくり拠点・交流施設への再生を行う。</p> <p>中心市街地の活力向上に向けて、まちなかの回遊(鉄道廃線敷、中心商店街、与板河川緑地の連携)を促す散策マップの作成や案内サインなどの整備を行う。</p> <p>与板地域の重要な歴史資源、貴重な財産として、楽山苑や城跡等の活用を図る。</p> <p>与板地域の憩いの空間として、地域内外からの多くの人々で賑わう与板河川緑地のさらなる魅力向上に向けて再生を行う。</p>	<p>まちなか駐車場整備(基幹事業:地域生活基盤施設)</p> <p>まちづくり活動拠点整備実験事業(提案事業:まちづくり活動推進事業) まちの駅よいた(関連事業) まちづくり協議会運営事業(提案事業:事業活用調査) まちづくり交付金事業の実施に関する成果検証及びまちづくり方策検討事業(提案事業:事業活用調査) 観光施設案内サイン整備(基幹事業:地域生活基盤施設) まちなか散策マップ作成(提案事業:地域創造支援事業) まちなか散策路整備(基幹事業:道路)</p> <p>楽山苑景観整備(提案事業:地域創造支援事業) 与板城跡景観整備(提案事業:地域創造支援事業) 本与板城跡景観整備(提案事業:地域創造支援事業)</p> <p>与板河川緑地再生整備(関連事業)</p>
<p>整備方針4 NHK大河ドラマ「直江兼続」ゆかりの歴史資源を活用し地域住民の心づかいで来訪者へのもてなし 既存建造物(空き店舗)を活用して、来訪者をもてなす魅力のあるまちづくり拠点・交流施設への再生を行う。</p> <p>歴史資源とまちなかの回遊(城跡、歴史民俗資料館、寺社、鉄道廃線敷、中心商店街、与板河川緑地の連携)を促す散策マップの作成や案内サインなどの整備を行う。</p> <p>NHK大河ドラマ「直江兼続」ゆかりの重要な観光資源、貴重な財産として、城跡や歴史民俗資料館、楽山苑等及びその周辺の整備を図る。</p>	<p>まちづくり活動拠点整備実験事業(提案事業:まちづくり活動推進事業) まちづくり協議会運営事業(提案事業:事業活用調査) まちづくり交付金事業の実施に関する成果検証及びまちづくり方策検討事業(提案事業:事業活用調査) 観光施設案内サイン整備(基幹事業:地域生活基盤施設) まちなか散策マップ作成(提案事業:地域創造支援事業) まちなか散策路整備(基幹事業:道路)</p> <p>楽山苑景観整備(提案事業:地域創造支援事業) 与板城跡景観整備(提案事業:地域創造支援事業) 本与板城跡景観整備(提案事業:地域創造支援事業) 兼続お船ミュージアム展示・PR(関連事業)</p>
<p>その他</p>	

